

職場で安全・衛生管理を担当する皆さまへ

STOP! 熱中症クールワークキャンペーン

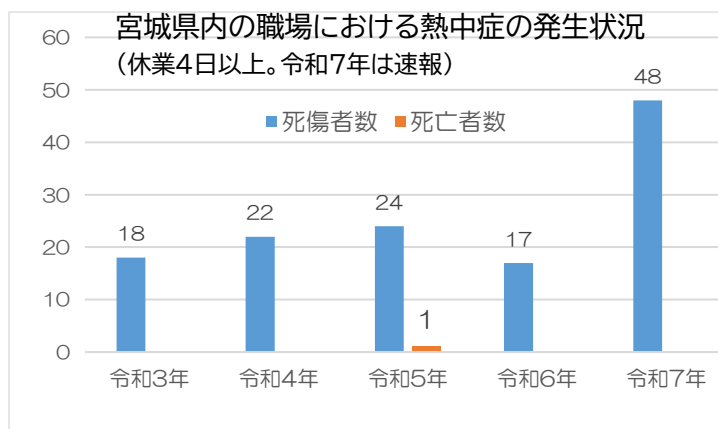
# 職場における熱中症予防説明会

## オンラインによる説明会を開催します。



令和7年の宮城県内の職場における休業4日以上  
の熱中症は48名(令和8年2月末速報)となり、  
「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」が始まった  
平成29年以降最多となりました。

本年も5月から9月までの間、「STOP!熱中症クール  
ワークキャンペーン」を展開しているところですが、  
今夏の職場における熱中症予防のため、以下のとお  
りオンラインによる説明会を開催することにしました。  
是非、ご参加ください。



### 令和8年6月18日(木) 13時30分～15時30分

参加 無料

定員 150名

受講方法 オンライン

\*Microsoft Teamsを使用します。

\*当日の接続は13時から予定しています。

申込締切 令和8年6月15日(月)

(仮)熱中症の予防について

講師

宮城産業保健総合支援センター産業保健相談員

漆山労働衛生コンサルタント事務所 漆山裕希 医師

産業医の経験が豊富な講師から、熱中症発生の仕組み、  
兆候や症状、防止対策等について説明します。

その他

令和7年6月からの職場における熱中症対策の義務  
化、熱中症防止ガイドライン等について説明します。

### 申込方法

右のURL又は2次元コードから  
お申し込みください。

定員に達した場合は、申込締切前に締め切らせてい  
ただきますので、ご了承ください。

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/NTQ4OA==/e1ebbb1ae0e84199ad991faf5a0ec7c4>



お問い合わせ先



STOP!

# 熱中症 クールワーク キャンペーン

職場での熱中症により近年は、  
一年間で約30人が亡くなり、  
約1,000人以上が4日以上  
仕事を休んでいます。



熱中症対策情報はこちら

キャンペーン期間

4月

5月

6月

7月

8月

9月

準備

重点取組

STEP  
1

## 暑さ指数の把握と評価

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握  
地域を代表する一般的な暑さ指数(環境省)を参考とすることも有効

STEP  
2

## 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

### 暑さ指数の低減

準備期間に検討した設備対策を実施

### 休憩場所の整備

準備期間に検討した休憩場所を設置

### 服装

準備期間に検討した服装を着用

### 作業時間の短縮

作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止

### プレクーリング

作業開始前や休憩時間中に深部体温を下げる

### 水分・塩分の摂取

水分と塩分を定期的に摂取(水分等を携行させる等)

### 暑熱順化への対応

熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整  
※新規入場者や休み明け作業者は別途注意すること

### 日常の健康管理

当日の朝食未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が  
熱中症の発症に影響すると指導し、作業開始前に確認

### 健康診断結果に基づく対応

次の疾患を持つ方には医師等の意見を踏まえ配慮  
①糖尿病 ②高血圧症 ③心疾患 ④腎不全 ⑤精神・神  
経関係の疾患 ⑥広範囲の皮膚疾患 ⑦感冒 ⑧下痢

### 作業中の作業者の健康状態の確認

巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等  
作業者にお互いの健康状態を留意するよう指導

## 異常時の対応

あらかじめ作成した連絡体制や対応手順当の周知徹底

少しでも本人や周りが異変を感じたら、あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等に基づき適切に対応

※ 必ず一旦作業を離れ、全身を濡らして送風することなどにより身体を冷却

※ 症状が回復しない場合は躊躇なく病院に搬送する(症状に応じて救急隊を要請)

重点取組期間

7月

にすべきこと



☐ 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加

☐ 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底

☐ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底

☐ 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加

☐ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施

☐ 熱中症のおそれがある者を発見したときは、躊躇することなく救急隊を要請